

# 前川区長 記者会見

## 【会見内容】

～ 日本初！都市農業に関する国際会議～  
世界都市農業サミット開催に向けて

令和元年 9月11日 練馬区

# ～日本初！都市農業に関する国際会議～ 世界都市農業サミット開催に向けて

## (1) 世界都市農業サミット概要

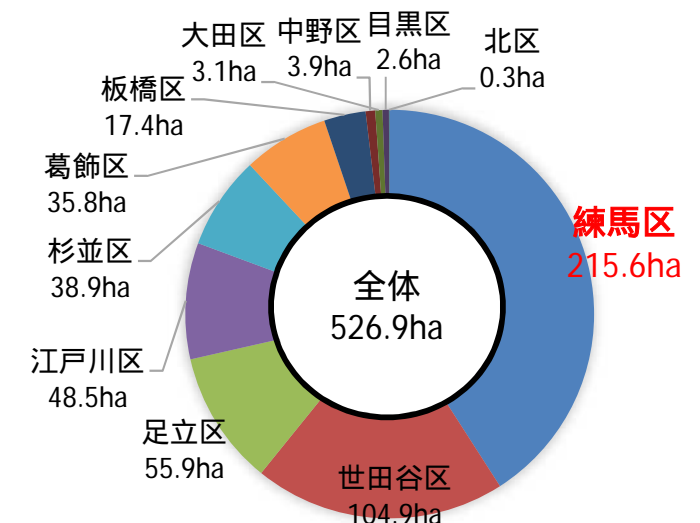
日 程	令和元年11月29日（金）～12月1日（日）
会 場	練馬文化センター、区民・産業プラザ（Coconeriホール他）他
内 容	国際会議(分科会、シンポジウム)、ねりまワールドフェスティバル、ねりマルシェ、練馬大根引っこ抜き競技大会、ジャズコンサート
被招聘都市	ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロント
後援(予定)	全国農業協同組合中央会、東京都農業協同組合中央会、東京あおば農業協同組合、練馬区農業委員会、練馬区議会、(株)西武ホールディングス、西武鉄道(株)、練馬産業連合会、練馬区商店街連合会、東京商工会議所練馬支部、練馬東法人会、練馬西法人会、外務省、農林水産省、国土交通省、東京都、米国大使館、駐日英国大使館、駐日インドネシア共和国大使館、駐日大韓民国大使館、カナダ大使館
順不同	



昨年秋実施した「世界都市農業サミット・イベント」の様子

23区内の農地の**約4割**を練馬区が占める

### 区部の農地面積



東京都農業会議資料(平成29年3月31日時点)

## (2) 開催の目的

練馬区は、大都市東京の都心近くに立地しながら、市民生活と融合した生きた農業が営まれています。都市農業は、都市生活に新たな豊かさをもたらすものであり、練馬区の誇りです。この農業と農地を守り、次世代に引き継ぐことが区としての重要な責務です。

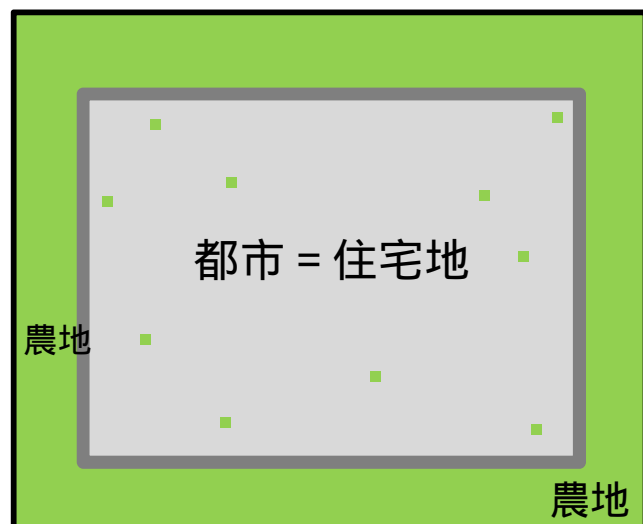
サミットは、こうした練馬の都市農業の魅力と可能性を世界に発信し、参加都市が相互に学び、更に都市農業を発展させていくために開催するものです。

### (3) 欧米と練馬の都市構造の違い

## 練馬の農業は産業として存在し、区内の至る所に農地が存在

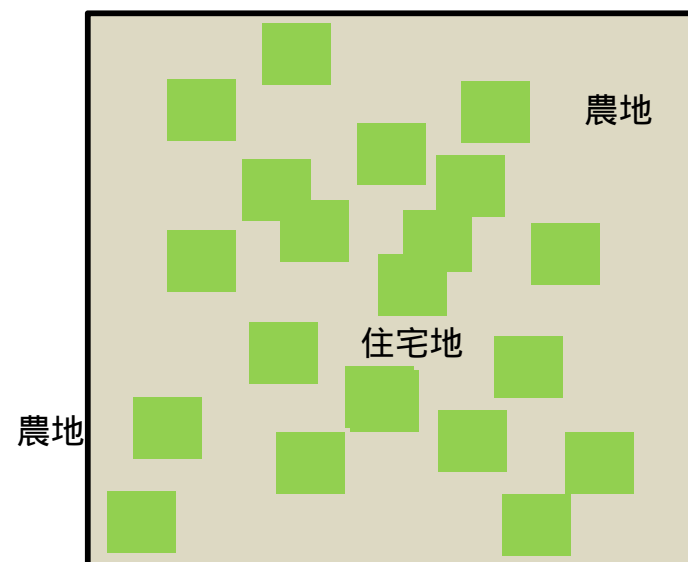
### 欧米の一般的な都市構造

城壁によって都市部と農地は明確に区別され、農地は城壁外周において発展していた。近年、コミュニティ農園など、生産目的とは異なる農地が市街地の中に新たに創出されている。



### 練馬の都市構造

住宅地と農地が混在しており、産業としての農業が成り立っている。



## (4) - 1 国際会議（分科会）

### 1 . 国際会議（分科会）

【日時】 11月30日（土）13時～17時

【会場】 区民・産業プラザ（Coconeriホール他）

#### 分科会 農産物の生産・流通・消費

##### テーマ

都市における農産物生産と販売について考える



座長 八木 洋憲氏

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授

#### 分科会 都市農業の多面的機能

##### テーマ

都市の農業を活かしたコミュニティづくり



座長 井原 満明氏

株式会社地域計画研究所顧問

#### 分科会 農地の保全・創造

##### テーマ

都市における農を活かしたまちづくり



座長 小泉 秀樹氏

東京大学まちづくり研究室 教授

世界の都市では、誰がどのように農産物を生産し、消費者まで届けられるのか？これからの都市における農業ビジネスの発展性は？農業ビジネスを通じた社会や環境への貢献とは？練馬で活躍する農と食のプロフェッショナルがナビゲーターとなって、練馬と世界の経験を通じて、来場者と一緒に考えていきます。

都市農業を通じて市民が得られる教育、福祉およびまちづくり等の多様な機能と地域コミュニティの形成にもたらす効果を明らかにしていきます。また、海外の都市で盛んに行われているコミュニティ・ガーデン等の市民自らが耕作する多様な農的空間の創出と、それらを通じて社会的課題の解決に取り組んでいる事例を学びます。

都市における農地は、ランドスケープデザインに基づく快適な都市空間づくりに加え、農を通じたコミュニティの形成やビジネス創造等の面でも重要な役割を担っています。本分科会は、世界の各都市固有の状況や共通課題を踏まえ、都市計画や税制、支援制度等、都市に農地に残し、埋め込み、広げていくための政策的な対応等について議論を進めます。

## (4) - 2 国際会議 (シンポジウム)

### 2. 国際会議 (シンポジウム)

【日時】 12月1日 (日) 13時45分～17時30分

【会場】 練馬文化センター小ホール

**都市農業の未来を語る**  
～私たちの暮らしをいかに豊かにできるか～



**座長 後藤 光蔵氏**  
武蔵大学 名誉教授

世界5都市の行政担当者、農業者、研究者、NPO関係者が集まり、多様な取り組みを学び合い、都市住民の生活を一層豊かにする都市農業の可能性を探ります。世界の都市農業の現状を知り、練馬の農業を一層豊かに発展させる方向を共に考えましょう。

#### みんなde農コンテスト

昨年度のプレイベントで入賞した企画実施部門の3件について、1年間の取組状況のプレゼンテーションを行い、大賞・J A東京あおば特別賞・会場賞を表彰します。

#### 【入賞団体】

- ・ねりまみどりの教室 (東京学芸大学附属国際中等教育学校 EAport)
- ・産地 = 開進第二中学校 (区立開進第二中学校 農部)
- ・ぶどう畑のミツオさん (NPO法人 みどり環境ネットワーク!)



「ねりまみどりの教室」



「産地 = 開進第二中学校」



「ぶどう畑のミツオさん」

#### <シンポジウム スケジュール>

時間	内容
13:00 -	みんなde農コンテスト 企画実施部門3団体のプレゼンテーション
13:30 -	みんなde農コンテスト投票
13:45 -	シンポジウム 事例発表 (ニューヨーク・ロンドン・トロント) - 休憩 - 事例発表 (ソウル・ジャカルタ・練馬) パネルディスカッション
	みんなde農コンテスト 表彰式
	サミット宣言
17:30	閉会

## (5) 参加5都市を紹介



### ニューヨーク

#### - 社会の課題を都市農業で解決 -

- 行政が推進するコミュニティ農園とベンチャー企業が行う農園に大別される。
- 1970年代、市の財政危機の際に放棄された敷地を市民が安全な場所にするために農園をつくり始めたのがきっかけとなって、コミュニティ農園事業「グリーンサム」を推進、現在550か所ある。
- コミュニティ農園では野菜の栽培や販売を行うことで若者の就労支援や安価で新鮮な野菜の供給に取り組んでいる。
- ベンチャー企業では、建物の屋上や室内で栽培し、ファーマーズマーケットで販売されたり、レストランで使用されている。



グリーンサム

昨年度のプレイベント被招聘者・ビル・ロサッソ氏発表資料より



©Brooklyn Grange Rooftop Farm

ベンチャー企業による  
アメリカ最大級の屋上農園

#### 被招聘者のプロフィール

##### ビル・ロサッソ氏

ニューヨーク市 公園局 グリーンサム部長



ニューヨーク市公園局のグリーンサム事業の責任者です。グリーンサム事業は、アメリカ最大の市民農園事業であり、ニューヨーク市内にある550か所の市民農園の運営を支援しています。2万人のボランティア農業者が参加し農産物を栽培しており、市は農園開設の支援や技術指導、資材の提供を行っています。

##### ネヴィン・コーエン氏

ニューヨーク市立大学大学院 公衆衛生学専攻 准教授



ニューヨーク市立大学で健康的で環境に配慮した都市の食料システムの構築を研究しています。共著「ビヨンド・ザ・ケール」では、都市農園が人種・ジェンダー・社会的格差の解消にいかに関与しているのかを分析しており、ニューヨークの都市農業と「ソーシャル・ジャスティス」に関して記述しています。

##### リズ・ヌーマーク氏

グレート・パフォーマンスシーズCEO兼カチキー・ファームおよびシルビア・センター創設者



アメリカ国内有数のケータリング会社「グレート・パフォーマンスシーズ」のCEOを務め、同社はカチキー・ファームも運営しています。ニューヨーク郊外に60エーカーの農地を保有する有機CSA農園で、消費者、食関連に携わる人や家族など、健康でおいしい地域における食料の繋がりをつくっています。

CSAとは、生産者と消費者が連携し、前払いによる農産物の契約を通じて相互に支え合う仕組み



## ロンドン

### - オリンピックを機に2012か所の農園を開設 -

- ・地域活動によるコミュニティ農園と、区画貸しの市民農園に大別される。
- ・2012年のオリンピック・パラリンピック ロンドン大会の際に、コミュニティ農園を2,012か所開設する目標を掲げ、現在2,700か所まで増えている。  
(3分の1は学校内にあり子供たちが参加)
- ・大ロンドン庁は、市民が等しく良質な食料を確保できることを目指す「食料戦略」を策定、コミュニティ農園で作られた野菜も流通されている。



リージェンツ・パーク内の市民農園



学校農園と養蜂の様子

昨年度のプレイベント被招聘者・マーク・アインズバリー氏  
発表資料より

#### 被招聘者のプロフィール

##### マーク・アインズバリー氏

大ロンドン庁 再生経済部門 食料政策係長



大ロンドン庁で12年間にわたり食料政策部門に従事したのち、2004年に市長のもとに新設された同部門の食料政策チームで、ロンドン食料戦略の策定に携わりました。その後、官と民が連携して、農産物生産者から消費者までの流通経路の縮小化に取り組み、現在、新たなロンドン食料戦略の策定に携わっています。

##### アンドレ・フルヨン氏

ブライトン大学 建築学専攻 教授



ブライトン大学で持続可能な都市型食料システムを研究している第一人者です。建築家として、カトリン・ボーン氏と共同で「ボーン&フルヨン建築事務所」も構えています。代表的な著書に、ボーン氏との共著である「連続する生産的都市景観(CPULs)~持続可能な都市のために都市農業をデザインする~」等があります。

##### サラ・ウィリアムズ氏

NPOサステイン プログラムディレクター



2012年までに2012か所のコミュニティ農園の開設を目指す「キャピタル・グロウス」に携わり目標を達成しました。また、ボランティア活動を奨励する国の事業などにおいて、NPOサステインにおける新分野の業務を開発し、健康増進事業にも取り組んでいます。大ロンドン庁への諮問機関であるロンドン食料委員会の委員も務めています。



## ジャカルタ

- 急激な都市化に対抗し環境改善に取り組む -

- ・市民と連携して行政が推進する「ガンヒジョウ」（緑の路地）と伝統的農業に大別される。
- ・急速な都市化により自然破壊が進行している。州は環境の改善を目的に、生産力のある緑地 30% 達成等を目標に掲げる。
- ・150か所で地域住民による路地でのポット栽培が盛ん。
- ・都市化が進むなかで残された伝統農業では、果樹など高付加価値化を追求している。



ガンヒジョウ  
(路地でのポット栽培)



### 被招聘者のプロフィール

#### ダルジャムニ氏

ジャカルタ首都特別州 水産農業食料安全保障局長



州では、都市農業を積極的に取り組んでおり、2018年に都市農業施策「グランド・デザイン」を策定しました。都市農業は野菜や果物のニーズを満たし、またジャカルタ市民の直面する課題を解決するものとして、様々な事業を実施しています。

#### ディア・メイディアンティ氏

チトラ・ナガ・チュムラン社 植物防疫研究所長



州の都市農業部長として従事したのち、植物防疫研究所長を務め、ジャカルタ社会全体に対する都市農業支援も行っています。また、ラスパティ大学で植物防疫、総合的病害虫管理の講師も務め、学生たちに植物害虫と病気の分野における統合された害虫管理とバイオテクノロジーの概念の応用を教えています。

#### ラティファ・アブドゥル・ソマド氏

南ジャカルタ市 都市農業者団体 代表



女性たちの活躍の場を提供するため、ガンヒジョウを運営する農業者団体を設立しました。村の相談センター長を務め、農業者団体や地域コミュニティに対して、都市農業に関する知識の向上のためのトレーニングや健康食品の生産支援を行っており、食料安全保障の実現を目指しています。

被招聘者からの提供資料をもとに作成





## ソウル

### - 市民とともに日常生活に都市農業空間を広げる -

- ・放棄された土地や屋上など生活圏の様々なスペースを使って余暇・レジャー・教育として作物を育てる、都市における農業活動を「都市農業」と定義している。
- ・週末体験農園・市民農園といった都市農業と、開発制限区域内で農家が営む伝統的農業に大別される。
- ・伝統的農業は、稲作と白菜、サンチュといった葉菜類が主である。



江東区（カドソク）市民農園



開発制限区域内で営む伝統的農業

#### 被招聘者のプロフィール

##### ソン・インボン氏

ソウル特別市 経済政策室 都市農業課長



ソウルでは農業は徐々に消滅しつつある分野でしたが、2011年の「ソウル市都市農業元年宣言」以降、都市農業という新たな名を冠して持続発展可能な都市政策のトレンド事業として注目され始めました。現在、韓国ですべての都市に広がっています。これら活動の中心として30年以上農業行政に携わっています。

##### イ・チャンウ氏

韓国都市農業研究所長



現在、ソウル特別市都市農業委員会委員長と韓国都市農業研究所長を兼任しています。市の傘下であるソウル研究院に約20年勤務し、ソウル特別市の都市農業活性化案、ソウル市都市農業分野の社会的経済企業活性化案など、都市農業分野について研究を行ってきました。

##### カン・ハンソン氏

江西農業協同組合 農業指導者ソウル特別市連合会 西部地区会長



稲作、週末農場、ビニールハウスでいちじくを栽培しています。稲作ではアヒル農法による無農薬栽培を行い、環境にやさしい農業を目指しています。先進的農業のために稲作作物グループを構成し、近隣の農家とともにより安定した所得向上のために努めています。

被招聘者からの提供資料をもとに作成



# トロント

## - 都市農業を通じて異文化理解を促進する -

- ・移民の社会的包摂を目的としたコミュニティ農園と、環境保全を目的とした民間の農園事業に大別される。
- ・市民の半数が移民で構成されているため、コミュニティ農園は移民の孤立を防ぎ社会的包摂の推進につなげるねらいがある。
- ・ハリケーンで荒廃した河川敷や高圧線の下の土地を農地に変える施策や、屋上緑化条例による屋上農園の開設等民間との連携による多様な取組がある。



ブラッククリーク・コミュニティファームの直売所



市庁舎前でのファーマーズマーケット

### 被招聘者のプロフィール

#### ロリ・スタールブランド氏

トロント市 トロント・フードポリシー・カウンシル (TFPC)



TFPCは、公衆衛生局の小委員会として設立された世界初の食料政策審議会です。行政へ提言を行い、都市におけるフードセキュリティと持続可能な食料システムを確立することを目的に活動しています。トロント食料憲章、都市農業アクションプラン、トロント食料戦略等様々な政策策定に貢献しています。

#### ソニア・ディール氏

トロントおよび地域保全局 (TRCA)ハンバー川・都市農業プログラム事業担当課長



TRCAは、過去、洪水により河川水域を収用し、トロント最大の土地所有者であり、近隣自治体と連携し広域的な管理を行っています。近年、食料生産、農地保全、持続可能なコミュニティの奨励を目的に、都市農業プロジェクトを推進しています。新規就農希望者向けのプログラムでは、農地を貸し付ける等経験を積むためのサポートを行っています。

#### ロンダ・テイテル=ペーン氏

NPOトロント・アーバングロウーズ コーディネーター



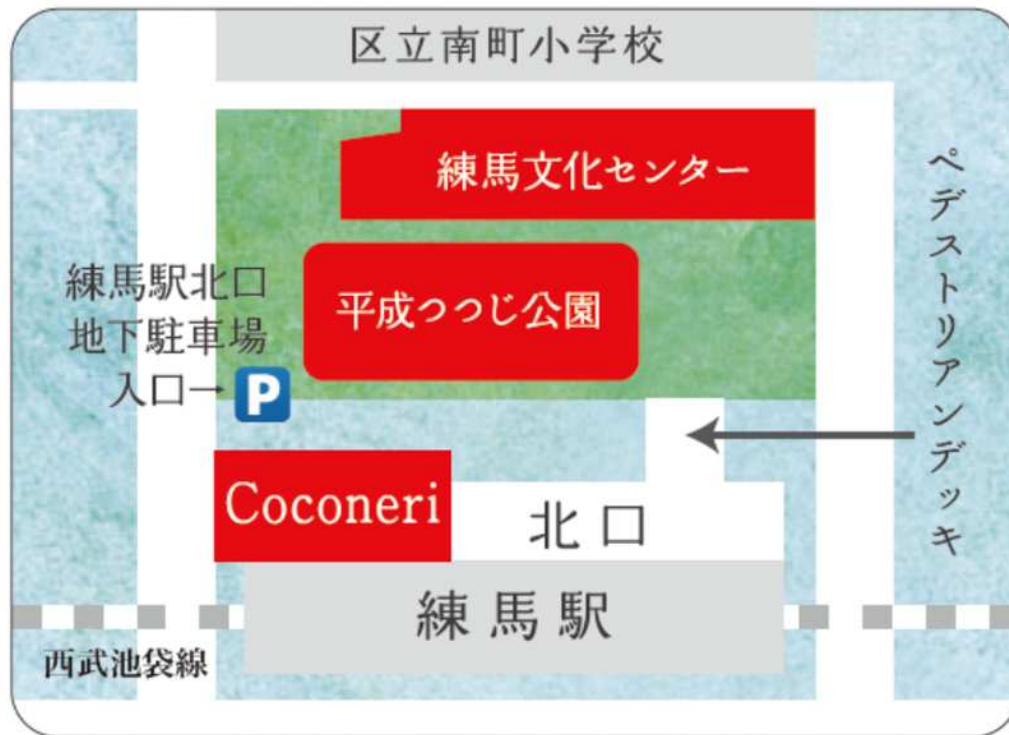
トロント市や関係機関と連携し、政策と都市農業プロジェクト開発の調整を行う仕事をしています。トロント・フードポリシー・カウンシル、トロント・コミュニティ農園ネットワーク、公園・レクリエーション局コミュニティ農園諮問委員会、都市農業アクションプラン策定メンバーとして、市全体のフードセキュリティの取組に貢献してきました。

被招聘者からの提供資料をもとに作成

## (6) イベント

練馬文化センターやCoconeriホールおよび会場周辺で、誰もが楽しめる多彩なイベントを開催します。

### 会場図



### スケジュール

	イベント	会場
11/29(金)	世界都市農業サミット記念コンサート 「World JAZZ」 (19時～21時)	練馬文化センター
11/30(土)	練馬大根引っこ抜き競技大会 (9時～12時)	区内の畑
	国際会議(分科会) (13時～17時) 同時通訳あり	区民・産業プラザ (Coconeri内)
12/1(日)	国際会議(シンポジウム) (13時～17時30分) 同時通訳あり	練馬文化センター
	ねりマルシェ (10時～15時)	平成つつじ公園
	ねりまワールドフェスティバル (10時～18時)	区民・産業プラザ (Coconeri内)

1  
(日)

## ねりマルシェ (会場:平成つつじ公園)

練馬の農業者や飲食店による採れたて野菜や果物、花、料理の販売のほか、サミット参加国の料理やお酒も提供されます。

10時～15時 特設ステージでは、区内大学の小編成楽団による楽器演奏などが楽しめます。



昨年度のイベント  
開催時のねりマルシェ

30  
(土)

## 練馬大根引っこ抜き競技大会 (会場:区内の畑)

練馬大根を引き抜く早さを競う「練馬大根引っこ抜き競技大会」に、大学留学生や区内在住外国人の方々にも広く参加を呼びかけます。

9時～12時 伝統野菜である練馬大根の魅力をも日本のみならず、世界に発信します。



練馬大根引っこ抜き競技大会

1  
(日)

## ねりまワールドフェスティバル (会場:区民・産業プラザ)

世界の料理やお酒を味わいながら、民族舞踊や楽器演奏などのステージが楽しめます。

10時～18時 さらに、雑貨等の販売・展示や民族衣装の試着体験など、各国文化に触れることができます。



イベントでの民族  
衣装の体験コーナー

29  
(金)

世界都市農業サミット記念コンサート

## 「World JAZZ」 (会場:練馬文化センター)

プロミュージシャンによるジャズコンサートを練馬文化センターで開催します。サミット参加国に関わる曲目の演奏や、会場の軽飲食ブースでの練馬にちなんだカクテルなどが楽しめます。

19時～21時



イベントでの  
歌姫ジャズサミット

## (7) 開催に向けた機運醸成

練馬区 × 西武鉄道

世界都市農業サミット応援企画『西武 旅するレストラン「52席の至福」』に練馬産野菜が登場！

世界都市農業サミットの開催に向けた機運を醸成するため、西武鉄道と連携して『西武 旅するレストラン「52席の至福」』において、11月から12月までの期間中「練馬産の食材を活用したレストラン企画」を展開します。

さらに、サミット開催の1週間前には、「練馬産食材レストラン企画」とあわせた効果的な広報展開を図るため、区民を対象とした貸切運行による旅行を行います。



レストラン電車「52席の至福」外観



レストラン電車の内観

### (1) 企画内容

【「旅するレストラン」への練馬産食材の提供】

11月から12月の同一メニュー期間を通じて、練馬産野菜などを使った食事を提供することで、「練馬の都市農業」の魅力を広く発信します。

### (2) 貸切運行の実施

【日程】 令和元年11月23日（土）

豊島園駅発 10時50分頃 ~ 西武秩父駅着 14時頃

【対象】 区内在住・在勤・在学の方

【代金】 1万円（税込）

乗車チケット（最終旅行案内書）、西武線1日フリーきっぷ、コース料理を含む

参加特典として、練馬産農産物またはJA東京あおばによる練馬産農産物または加工品詰め合わせを後日送付予定。

### (3) 提供される食材（予定）

JA東京あおばの協力により、練馬産の大根・キャベツを使用します。（貸切運行の際は、大根とキャベツのいずれも食事に使用。）

また有料のドリンクには、JA東京あおばのプライベート商品「練馬金子ゴールデンビール」が登場する予定です。



時期によって、練馬産の練馬大根が登場！



都内生産量No.1  
練馬産のキャベツ

練馬金子  
ゴールデン  
ビール



日本初のビール麦  
「金子ゴールデン」を  
使ったビール

## 農業者協力ポスターの作成・展開

直売所を設置している農業者をはじめ、農業委員、果樹あるファーム生産者、世界都市農業サミット実行委員など100名を超える農業者の方々が登場するPRポスターを制作、サミットを盛り上げる一助とする。

【制作種類】 10パターン制作

【掲出場所】 ・撮影に協力いただいた農業者の直売所や圃場フェンス  
・JA東京あおば共同直売所（桜台、練馬春日町、石神井、大泉）  
・区立施設（約100か所）

【その他】 サミット当日に、ポスターデザインを基にした大型広告物を会場で掲出する。



## サミットPRアニメの制作

アニメコンペティション練馬2018のグランプリ受賞者と一般社団法人練馬アニメーションが協働して、「世界都市農業サミット」をアピールする短編アニメを制作し、サミットの機運醸成と練馬の農のPRに活用する。

【規格】 放映時間 2分30秒

【放映場所】 区ホームページ、  
観光案内所（練馬・石神井）、  
JA東京あおば支店（練馬春日町、石神井、大泉）、  
西武鉄道車両内、  
映画館（ユナイテッド・シネマとしまえん、T・ジョイSEIBU大泉、イオンシネマ板橋）等



## 外国人記者向けプレスツアー（7/8実施）

ツアーにはフランス、中国、香港・マカオ、韓国、インドネシアのメディアが参加し、果樹あるファーム（摘み取り農園）や生産者の圃場を訪れ、熱心にインタビューを行った。

畑に隣接して設置された「野菜販売ロッカー」も訪問、ロッカーから野菜を購入するという珍しい光景を熱心にカメラに収めていた。

練馬産の野菜を使ったレストランや、手づくり味噌を製造する都内で唯一の味噌蔵も視察、生産の場と密着した現場も取材した。



## 区内3大学との連携・協力

区内にある日本大学芸術学部、武蔵大学、武蔵野音楽大学の3大学と区は、連携・協力関係をさらに深化するため、包括的な協定を締結する。

世界都市農業サミットについても、事前PR活動や関連イベントへ協力を得ながら進めていく。

## 各種イベントでのPR

「練馬まつり」、「JA東京あおば農業祭」、新たに実施する「ランタンイベント」、都主催の「東京都農業祭」など各種イベントにおいてサミットをPRしていく。

ランタンイベント向けに製作されたランタン

